

三光株式会社 荒尾・有明工場

創業以来、化学製品に特化した専門会社として身近な暮らしを支えてきた企業です。荒尾工場は製造部門として昭和22年に設立され、有明工場は平成24年に完成。今回は荒尾工場で活躍する藤川さんにお話を聞きました。



Profile

ふじかわ ふみや
藤川 史也さん
(31歳)
2011年4月入社
徳島県出身
有明工業高等専門学校
物質工学科卒

「化学薬品を扱うので、何事も確実に、安全に！」

何をしている会社？

創業から75年にわたり、当社は、化学製品の研究・開発・製造・販売を行い、多様なニーズに即応できる体制づくりに努めてきました。

レジで打ち出されるレシートや乗車券に使われる感熱紙用の材料、パソコンのプリント基板などに使われる難燃剤などを主に製造しています。みなさんの生活にさり気なく溶け込んで、なくてはならないものばかりです。

この会社を選んだ理由は？

高専在学中に工場見学に参加。そのとき新しい工場が建設中で社全体がとてエナジーギッシュでした。加えて製品の多くが海外にも出荷されていて、世界規模なんだとわくわくしましたね。高専で学んだ知識を生かせることもあり、当社で働きたいと思いました。

採用に向けての準備は？

筆記と面接があり、やはり面接はかなり練習しました。ただ、実際面接に臨むととても話しやすい雰囲気、いい会社だな、と思いました。

現在の業務は？

感熱紙の発色を良くするための増感剤を製造しています。当初から制御システムのオペレーターとして全体の生産管理を担当。現在は班長として後継を指導する立場となり、気を引き締めてがんばっています。

どんな職場？

入社後、半年間の本社研修を経て今の部署に配属となりました。社員教育が手厚く、おかげさまで化学の知識など、ある程度理解してからスタートできました。危険な薬品を扱うので、緊張をもって仕事をしますが、みなさんとても話しやすいし、助け合える良い環境です。

やりがい？ 目標は？

現場に裁量権があり、改善点や提案があればすぐ実行できます。周囲には住宅や学校がありますので、信頼いただけるよう常に「0災」を目指すとともに、みんなが仕事をしやすい職場づくりに努めたいです。

広大な敷地に化学の力を結集！



有明工場も団結力が自慢です 離職率が低く、多くの従業員が定年まで勤め上げます

会社概要

【荒尾工場】増永1850番地 ☎62-1135
【有明工場】大島1723番地 ☎64-1022
(本社：東京都中央区)
■製造業 ■資本金3億8,640万円
■事業内容 工業用薬品製造・電子基盤向け難燃剤製造など
■従業員数 荒尾・有明115人(内正社員95人)
■年間休暇日数 123日(製造部門105日)
■有給休暇平均取得日数 12日
■採用実績【年度：新卒(別中途)】 H30:3人(9人)・R1:3人(4人)・R2:2人(1人)・R3:2人(2人)・R4:2人(5人)予定



管理職の言葉

みんなに尊敬される班長です
製造一課 課長 武田 知洋さん

藤川さんは11年の経験もあり、オペレーションは完璧です。それに後輩から慕われていて、工場の中心になっていく人材として、徐々に部署の管理業務も任せています。危険な薬品を多く扱うこともあり、コミュニケーション能力とチームワークは不可欠。フットワークが軽くて、元気に動ける人材は大歓迎です。

